

みずほCustomer Desk Report 2020/05/18号(As of 2020/05/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.43
TKY 9:00AM	107.36	1.0806	116.02	1.2234	0.6471
SYD-NY High	107.43	1.0851	116.20	1.2243	0.6473
SYD-NY Low	106.86	1.0789	115.50	1.2100	0.6402
NY 5:00 PM	107.04	1.0823	115.88	1.2101	0.6415
NY DOW	23,685.42	60.08	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	9,014.56	70.84	日本10年債	-0.010	0.00bp
S&P	2,863.70	11.20	米国2年債	0.1501	0.21bp
日経平均	20,037.47	122.69	米国5年債	0.3106	1.10bp
TOPIX	1,453.77	7.22	米国10年債	0.6436	2.75bp
シコ日経先物	20,020.00	▲ 40.00	独10年債	-0.5300	1.40bp
ロンドンFT	5,799.77	58.23	英10年債	0.2305	2.65bp
DAX	10,465.17	128.15	豪10年債	0.9160	▲0.10bp
ハンセン指数	23,797.47	▲ 32.27	USDJPY 1M Vol	6.58	▲0.18%
上海総合	2,868.46	▲ 1.88	USDJPY 3M Vol	7.20	▲0.22%
NY金	1,756.30	15.40	USDJPY 6M Vol	7.88	▲0.10%
WTI	29.43	1.87	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	124.75	1.62	EURJPY 3M Vol	8.88	▲0.10%
ドルインデックス	100.40	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	9.53	0.03%

アジア	東京時間のドル円は小幅に下落した。ドル円は107.36レベルでオープン。五・十日とあって仲値にかけて国内輸入企業のドル買いが優勢となり、107.43まで一時小幅に上昇するも、滞空時間は短かった。オープンから米中間関係の冷え込み再発等を懸念した、日経平均株価の下落につれ、ドル円もすぐに下落に転じた。11時には中国鉱工業生産(4月)が発表され、市場予想を上回り、経済活動の持ち直しを示す形となったことから、ドル円は107.30台まで一時回復した。しかし、その後は新型コロナウイルス感染の第二波にも警戒感を残す中、ドル円は上値の重い展開が続く、じりじりと下げ、結局、107.20レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は107.20レベルでオープンし、アジア時間の終盤でドルが売られた流れを引き継ぎ、節目の107円近辺まで下落。その後、正午にかけて107.05を挟んで一進一退が続いたが、米株式先物が下げに転じると、ドル円は107円を割り込み、106.90まで下落幅を広げた。しかし、すぐ反発し、107円台を回復。107.00レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2202レベルでオープンし、材料難で売り買いが交錯した。正午あたりに、午前の安値の1.2191を下抜けると1.2155まで下落。1.2157レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルーパー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場で5、10日絡みの本邦輸入企業のドル買いが持ち込まれ107.43まで戻したものの、中国4月鉱工業生産が予想を上回る等好材料もあったが、米中間関係悪化からドル円は上値を抑えられ、106.90まで下落し、107.00レベルでNYオープン。朝方は5月NY連銀製造業景況指数が予想程悪化しなかった一方、米4月小売売上高が予想以上に低下したことが嫌気され、106.86まで反落する。しかし5月に入って州によって対応は違うものの、徐々にロックダウンが緩められていることから今後は改善するとの期待や、続いて発表の4月鉱工業生産、5月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を上回ったことや、ロンドンフィックスでドル買いが出るとの話もあり、107.34まで買い戻される。午後に入り107.37まで戻す局面もあったものの、Fedが年に2回出している金融安定報告書でパンデミックが悪化すれば資産価値が大きく下落すると発表したことから買いが強まり、107.04レベルまで反落しクロスした。一方、海外市場で1.08ちょうど付近での推移が続いたユーロドルは、1.0800レベルでNYオープン。朝方は米小売売上高結果を受けたドル売りや、スイス中銀が市場でEUR/CHF買いの市場介入をしているとの思惑もあり、ユーロドルは1.0851まで戻すが、米鉱工業生産、ミシガン大学消費者信頼感指数結果を受けドルが買い戻される展開に1.0804まで反落する。午後は狭いレンジでの推移が続いたが、大手格付け会社がフランスの格付け見通しを安定的からネガティブへ変更した一方、同時にFedの報告書の内容が伝わったことからユーロドルはじり高で推移し、1.0823レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 玉井・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

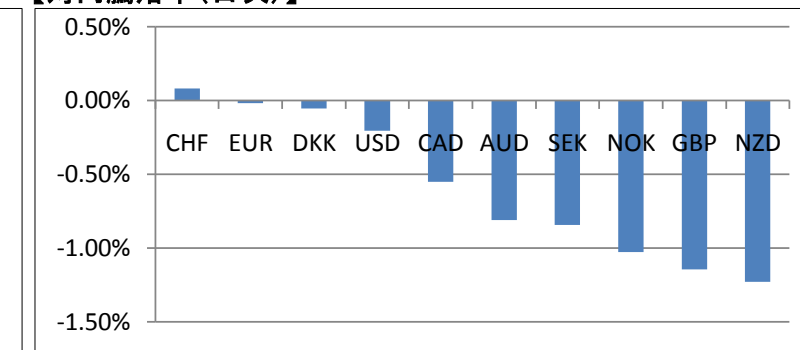
Date	Time	Event	結果	予想
5月15日	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	4月 3.9%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	4月 -7.5%
	15:00	独	PPI(前月比/前年比)	4月 -0.7%/-1.9%
	17:00	独	GDP(前期比)・速報	1Q P -2.2%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)・速報	1Q P -3.8%/-3.2%
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	4月 -16.4%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	5月 -48.5
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	4月 -11.2%

Date	Time	Event	予想	前回
5月18日	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・速報	1Q -1.1%
	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・速報	1Q -4.5%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	1Q 0.7%
5月19日	00:00	英	テンレイロBOE委員 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 米国でのマイナス金利導入はあるのか

5月8日に米FF金利先物は史上初めてマイナス金利を織り込む形となった。米国では新型コロナウイルスの感染拡大を受けて3月に大幅な利下げを実施したもののパウエル議長は以前からマイナス金利の導入には否定的な見方を示しており、3月以降も否定していた。しかしながら市場では先んじてマイナス金利を織り込む形となった。実際にはマイナス金利が導入されると考えている参加者が多いというより、ポジション調整の動きとの見方も多いようだ。ただトランプ大統領は以前より他国はマイナス金利で恩恵を受けているとし、FRBに対し導入を求めており、ここに来て再びマイナス金利導入を主張している。一方パウエル議長は改めて否定をしているが、新型コロナウイルスの影響が不明な上に、米中問題も再燃している。米中問題の悪化を受けて利下げを余儀なくされたことを思い返すと、マイナス金利もないとは言え切れないだろう。日本でもマイナス金利が導入され4年が経った。副作用に配慮し金利階層型を取っているが、日銀の3月末の残高を見るとマイナス金利適用分は全体の6%程度、都市銀行では残高0が続いている。これをその分市中に資金が回っており効果が出ているとみるか、副作用に配慮した制度とした結果あまり意味をなしていないと見るのか難しいところだが、4年経った現在でも(コロナウイルスという想定外の事象があったにせよ)出口が見いだせない状況にいることを鑑みると、大きく効果があるとは言えないだろう。米国では短期金利市場での取引が本邦に比べ活発であり、マイナス金利導入の場合は大きな影響が出ることもマイナス金利導入の障壁となりそう。個人的にはマイナス金利導入へのハードルは高く可能性は低いと考えるが、そのような世界を想定し考えることは有効かもしれない。(玉井)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14